

# 知財の広場

## 「企業価値について」

企業価値に占める無形資産の割合は増加しており、その無形資産の一部である知的財産も、企業価値として重要な部分です。

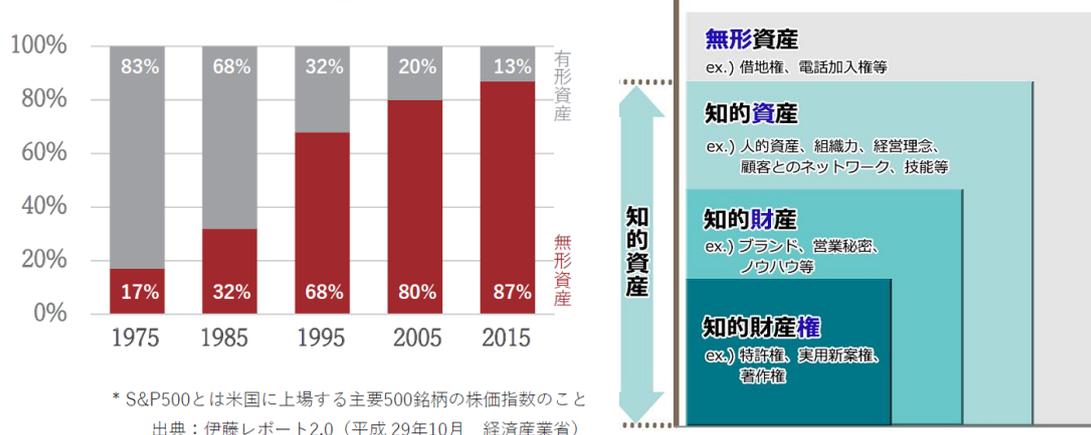
一度、どのような知的資産をお持ちか、見直してみませんか？

上場企業を例にとると企業価値は、「株式の時価総額＋有利子負債」で表すことができます。その企業価値から、有形資産を指し引くと無形資産となります。

1975年ごろ、アメリカでは、この企業価値に対する無形資産の割合は、2割程度でしたが、近年では、有形資産と無形資産の割合が逆転し、無形資産の割合が8割を超えるまでになっています。これは、アメリカの場合であって、日本では、どうかと思ひ、ある日本の建機メーカーの有価証券報告書をもとに企業価値における無形資産の割合を計算すると70%程度で、やはり、無形資産の割合が高くなっていました。

この無形資産は、特許権、商標権等の「知的財産権」、それにブランド、営業秘密、ノウハウ等の特許庁等に登録していないものを加えた「知的財産」、さらに人的資産、組織力、経営理念、技術、営業等のネットワークを加えた「知的資産」、さらに借地権等を加えたもので構成されます。

S&P500\*の企業価値に占める無形資産の割合



(独) 中小企業基盤整備機構「J-NET」より引用

不明点があれば、I N P I T滋賀県知財相談窓口 (TEL.077-558-3443) にご相談をお願いいたします。

有元 幸郎 (知財ナビゲーター)